

令和5年度 保健体育科【体育】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 保健体育科

教 科	保健体育	科 目	体育		
単 位 数	2	学 年	1	類 型	共通
教 科 書	新高等保健体育（大修館）				
科目目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。 1 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 2 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 3 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。				

各単元における評価の規準＜１学期＞

単 元	体づくり運動	
評価時期	１学期 ４月	
単元の目標	・次の運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立てて取り組むことができるようにする。 - ア 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うことができるようにする。 - イ 実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むことができるようにする。 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとし、健康・安全を確保することができるようにする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○知識 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。	・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとし、健康・安全を確保したりしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・振り返りシートの記述内容 ・単元小テスト	
思考・判断・表現	・教師による行動観察 ・レポート課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・振り返りシートの記述内容 ・教師による行動観察	

単 元	球技 選択Ⅰ（ハンドボール・ソフトボール）	
評価時期	1 学期 5～7 月	
単元の目標	・ 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 (1) ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。 (2) ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができるようにする。 ・ 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・ 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○知識 ・ 技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解している。 ○技能 ・ ゴール型では、安定したボール操作と空間を埋めるなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 ・ ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。	・ 攻防など自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・ 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 教師による行動観察 ・ 単元小テスト ・ 技能テスト	
思考・判断・表現	・ 教師による行動観察 ・ レポート課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 振り返りシートの記述内容 ・ 教師による行動観察	

単 元	体育理論	
評価時期	1 学期 6 月（2 時間）	
単元の目標	・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、理解することができるようにする。 (1) スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること。また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあることについて、理解することができるようにする。 (2) 現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際親善や世界平和に大きな役割を果たし、共生社会の実現にも寄与していること。また、ドーピングは、フェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせることについて、理解することができるようにする。 (3) 現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていること。また、スポーツの経済的な波及効果が高まるにつれ、スポーツの高潔さなどが一層求められることについて、理解することができるようにする。 (4) スポーツを行う際は、スポーツが環境や社会にもたらす影響を考慮し、多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められることについて、理解することができるようにする。 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むことができるようにする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○知識 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。	・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。	・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に主体的に取り組もうとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・教師による行動観察 ・単元小テスト	
思考・判断・表現	・レポート課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・振り返りシートの記述内容 ・教師による行動観察	

各単元における評価の規準＜２学期＞

単 元	体づくり運動	
評価時期	２学期 ８月～９月	
単元の目標	・次の運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立てて取り組むことができるようにする。 (1) 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うことができるようにする。 (2) 実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むことができるようにする。 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとし、健康・安全を確保することができるようにする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○知識 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。	・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとし、健康・安全を確保したりしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・振り返りシートの記述内容 ・単元小テスト	
思考・判断・表現	・教師による行動観察 ・レポート課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・振り返りシートの記述内容 ・教師による行動観察	

単 元	球技 選択Ⅱ（バドミントン・テニス・卓球）	
評価時期	2学期 9月～11月	
単元の目標	・次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 - ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、作戦などについての話し合いに貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうということなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○知識 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解している。 ○技能 ・ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。	・攻防など自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、作戦などについての話し合いに貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうということなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・教師による行動観察 ・単元小テスト ・技能テスト	
思考・判断・表現	・教師による行動観察 ・レポート課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・振り返りシートの記述内容 ・教師による行動観察	

単 元	体育理論	
評価時期	2 学期 10 月 12 月 （4 時間）	
単元の目標	・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、理解することができるようにする。 (1) スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること。また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあることについて、理解することができるようにする。 (2) 現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際親善や世界平和に大きな役割を果たし、共生社会の実現にも寄与していること。また、ドーピングは、フェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせることについて、理解することができるようにする。 (3) 現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていること。また、スポーツの経済的な波及効果が高まるにつれ、スポーツの高潔さなどが一層求められることについて、理解することができるようにする。 (4) スポーツを行う際は、スポーツが環境や社会にもたらす影響を考慮し、多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められることについて、理解することができるようにする。 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むことができるようにする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○知識 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。	・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。	・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に主体的に取り組もうとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・教師による行動観察 ・単元小テスト	
思考・判断・表現	・レポート課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・振り返りシートの記述内容 ・教師による行動観察	

単 元	陸上競技	
評価時期	2 学期 11 月～12 月	
単元の目標	・ 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができるようにする。 (1) 短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡しで次走者のスピードを十分高めること、長距離走では、自己に適したペースを維持して走ること、ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く越すことができるようにする。 (2) 走り幅跳びでは、スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳ぶこと、走り高跳びでは、リズムカルな助走から力強く踏み切り滑らかな空間動作で跳ぶことができるようにする。 ・ 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・ 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、自己の責任を果たそうとし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとし、健康・安全を確保することができるようにする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○知識 ・ 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 ・ 長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。	・ 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	・ 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、自己の責任を果たそうとし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとし、健康・安全を確保したりしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 教師による行動観察 ・ 単元小テスト ・ 技能テスト（記録）	
思考・判断・表現	・ 教師による行動観察 ・ レポート課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 振り返りシートの記述内容 ・ 教師による行動観察	

各単元における評価の規準＜３学期＞

単 元	球技 選択Ⅲ（サッカー、バスケットボール、バレーボール）	
評価時期	３学期 １～３月	
単元の目標	・次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 (1) ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。 (2) ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○知識 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解している。 ○技能 ・ゴール型では、安定したボール操作と空間を埋めるなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 ・ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。	・攻防など自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・教師による行動観察 ・単元小テスト ・技能テスト	
思考・判断・表現	・教師による行動観察 ・レポート課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・振り返りシートの記述内容 ・教師による行動観察	